

安ハスマートIC工業団地 優先交渉の3社決まる



工業団地整備が予定されている
安ハスマートインターチェンジ
周辺＝安八郡安八町中

太平洋工業

バローHD

城山産業

安八郡安八町が同町中の
名神高速道路安ハスマート
インターチェンジ(IC)
周辺で整備する「安ハスマ
ートIC工業団地」につい
て、工業団地の用地取得の
優先交渉事業者が太平洋工
業、バローホールディング

ス(HD)、大垣市の城山
産業に決定したことが25日
までに分かった。

同工業団地は、2018
年3月に開通した安ハスマ
ートIC周辺の6区画計約
22・5畝。

町によると、最も大きい
約9・43畝の区画は、太平
洋工業が工場と事務棟の建
設を予定する。バローHD
は、隣り合った2区画計約
6・76畝に工場と物流セン
ターを、鉄鋼製品を製造す

る城山産業は約1・44畝に
工場と製品倉庫の建設を予
定する。

今年11月から造成工事を
行い、26年春ごろに対象用
地の引き渡しを行う予定。

町は残る2区画計4・86
畝について2次募集を実施
せず、個別に事業者を探す

方針。

同エリアは町土地開発公
社が事業主体となり、13年
から整備事業を進めてき
た。今年7月に公募し、計
5事業者がプロポーザルに
参加した。今月、選定委員
会を開き、事業者を決定し
た。